

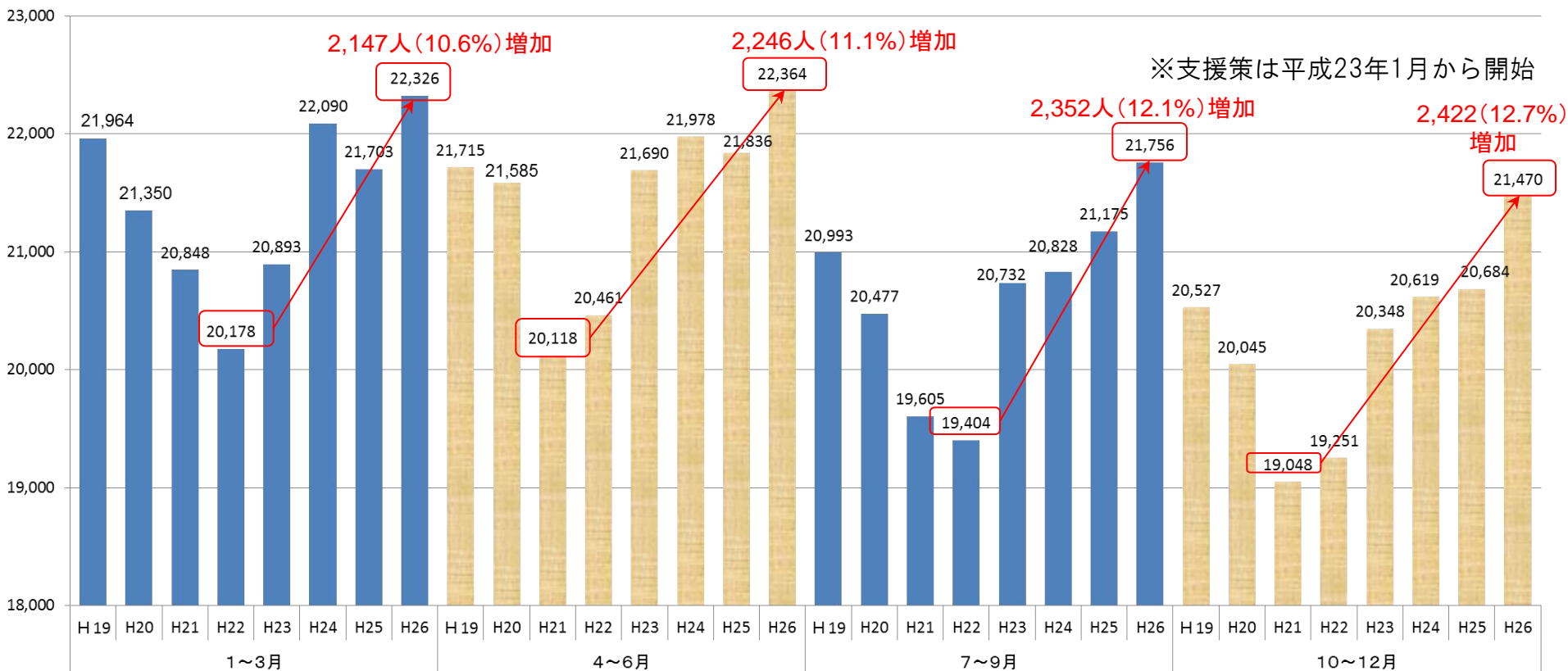
阪堺線利用者数について

全路線（阪堺線、上町線）の利用者数について

・4半期毎の利用者数を年度別に見た場合、最も少ない年度に比べ、10.6～12.7%（平均11.6%）の増加となっている。

利用者数の対前年同月比較（3ヶ月平均）

（人/日）



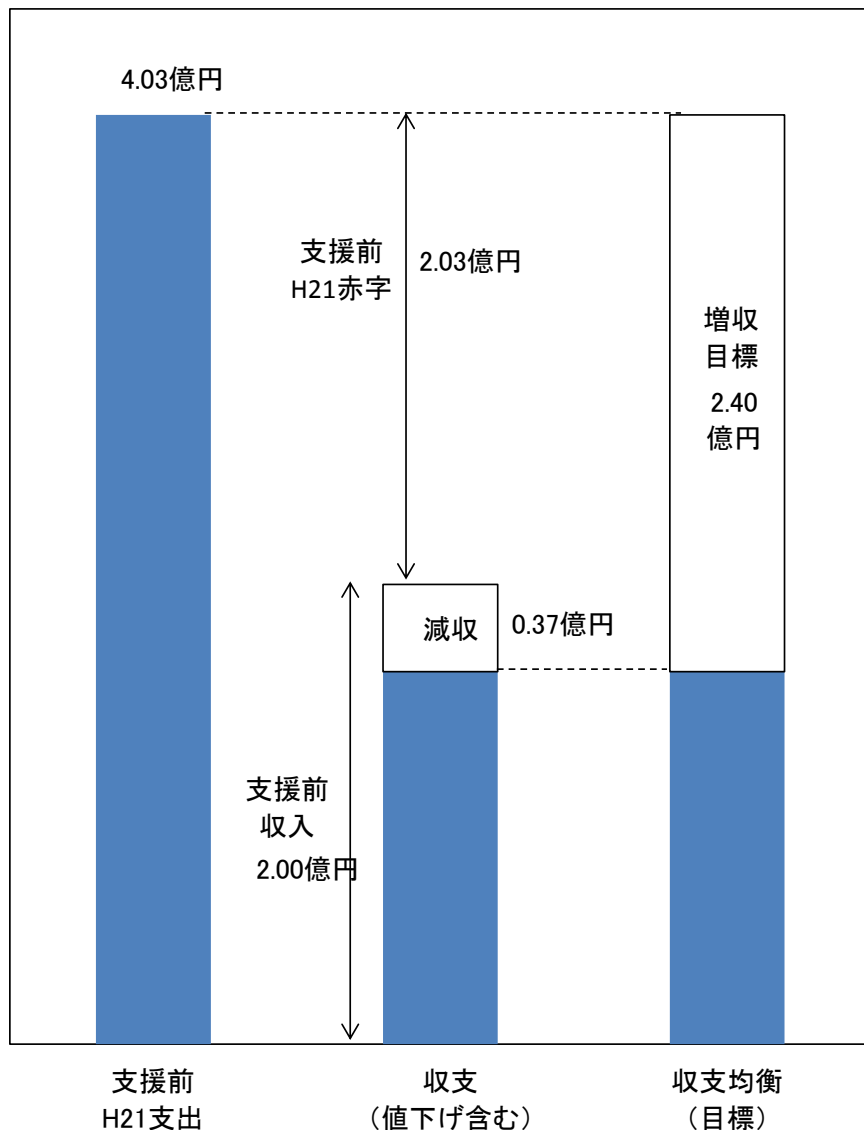
1日平均利用者数（年度平均）

| | H19年度 | H20年度 | H21年度 | H22年度 | H23年度 | H24年度 | H25年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1日平均利用者数 | 21,206 | 20,739 | 19,737 | 20,002 | 21,215 | 21,282 | 21,505 |
| 対前年の増減 | - | -467 | -1,002 | 265 | 1,213 | 67 | 223 |
| 対19年比 | 1 | 0.977 | 0.931 | 0.943 | 1.001 | 1.003 | 1.014 |

※支援策開始後
1,768人増
（約8.9%）

阪堺線堺市内区間の収支均衡に必要な利用者増加数について

- 堺市内区間の収支均衡に必要な堺市内区間利用者増加数約3,600人に対して、平成26年1月～12月まででは、支援策開始前の平成21年度より2,242人の利用者増加であり、約6割の達成度となっている。



○阪堺線堺市内区間の収支均衡には

- ・ 支援前の赤字額 約 2.03億円
- ・ 値下げによる減収額 約 0.37億円

合計 約 2.40億円増収となる利用者増加が必要

※減収額の内訳

- 200円運賃均一化による減収 約 0.31億円
- 高齢者運賃 (100円) による減収 約 0.06億円

○運賃施策への支援等により、定期外収入が増加

⇒定期外の平均実収運賃をもとに、収支均衡に必要な利用者増加数を試算

表.平成25年度における定期外の平均実収運賃 (円)

| 種別 | 現金(大人) | 現金(小児) | 回数券 | 高齢者 |
|------------|--------|--------|-------|------|
| 構成比 | 54.9% | 1.7% | 36.9% | 6.5% |
| 実収運賃 | 200 | 100 | 176 | 100 |
| 平均実収運賃 (円) | 183 | | | |

※ 回数券には小児を含む

○必要利用者増加数 (市補助金無し) の試算

収入目標 約 2.40億円 ÷ 183円 = 1,311,476人/年

利用者増加数の目標 3,594人/日

平成21年度 利用者数 19,737人/日 (支援策前)

平成26年1～12月増加数 (日当り)

2,242人/日

支援策前から11.3%増

⇒ 約6割